



2 クラスだよ



いちご組 (0歳児)

いちご組全員が歩けるようになり、散歩先や園庭でも歩くことを楽しんでいます。友だちと一緒に手を繋いで歩く姿も見られ、歩くことを通じて、さらに友達との関わりが深まっているように感じています。途中で転んでしまう友達がいると、すぐに駆け寄って顔を覗かせたり、時には背中をポンポンと優しく叩いて、まるで慰めているかのような瞬間も見られるのですよ。今年の1月は、例年に比べ暖かく、子ども達も早く外へ出たいのか、登園してしばらくすると、ロッカーからジャンパーを引っ張り出して、外に行きたいとアピール。午前のおやつ前に園庭でひと遊びする日もあります。ひと遊びして部屋に戻ってくる時の表情は、キラキラしていて楽しかったのが伝わってきます。朝から太陽の光を浴びると、目も冴え、自律神経も整って良いことづくしです。寒い日もありますが、子どもの成長に欠かせない太陽の光を、これからもたくさん借りながら、外遊びを楽しんでいきたいと思ひます。(石川)



さくら組 (1歳児)

一年で最も寒いと言われる2月。寒い日でも元気に遊ぶ子どもたちの姿にたくましさを感じます。先日より以上児のトイレを使用しています。以上児のトイレに行くのを楽しみにしている子どもたち。「トイレに行くよ」の声を聞くと紙パンツなどロッカーから出し準備するのですが、その早いこと。トイレの後のズボンを履くのも上手になってきました。靴下を履くのも毎日行っています。丈が長すぎても短すぎても難しいようです。家で一緒にやりながら履きやすい長さの物を用意して頂けると嬉しいです。

最近はお医者さんごっこに夢中です。聴診器を耳に付けてお医者さんに変身。「先生もおいで」と言って患者にして診てくれるのです。友だちが患者になることも。そのやり取りや会話が微笑ましいです。

今年度も残り2カ月になりました。子どもたちの成長を見守りながら1日1日を大切に過ごしていきたいと思ひます。(増田)



ちゅうりっぷ組 (2歳児)

体が煽られてしまうくらい強い風の日がありました。子どもたちは風で木が揺れている様子を「木が忍者体操してるよ！」とまるでダンスしているようだと見立てて風を楽しんでいました。

1月中旬頃コップと巾着袋を用意していただき、食後のうがいが実施されるようになりました。保育園では初めてのうがいでしたが、すぐに上手になり、1月終わり頃では食事の後、自分達でコップを準備して一人で水道に行きうがいをする、という流れが出来ていました。また、「ママに買ってもらったの!」「僕のコップ見て～」と自分のコップや巾着袋をとでも嬉しそうに見せ合っことをし、食後の楽しみの一つとなっています。今後も生活習慣の一つとして続けていきたいと思ひます。

2月では節分集会有ります。鬼の存在はちゅうりっぷ組のみんなも敏感に感じ取っているようで、よく「おにこわい!」と話している姿が見られます。豆入れの準備は万端なのでみんなで節分を楽しみたいと思ひます。(石井)



もも組 (3歳児)

先日のカレーパーティーのメニューをもも会議で話していると、子ども達から「カレー作るのバーベキューみたいだね!」の一言から「せんせい! バーベキューと言えばキャンプだよ!」「キャンプなら枝にマシュマロだよ!!」とまるで連想ゲームのように子ども達からどんどん楽しい発想が湧き出てきました。「みんなでキャンプする?」と言うと「やりた〜い!」と子ども達はカレーよりもキャンプを楽しみにしていました。それから神社で枝を拾ってきて焚火をしようと話し合い、当日はみんなでテントを張ったり、バーベキュー、魚釣りをしました。テントの下で食べるカレーはいつものカレーより格別に美味しくみんなが笑顔です。「今日はテントの下で寝ますよ〜」の声掛けに「え〜! わくわくする!!」「やった〜!!」と何もかもがいつもと違う景色に見え、こんなにもキラキラした子ども達の表情に胸を打たれました。最後はおやつでマシュマロとコアラのマーチを串に刺し幸せ時間でした。

(月足)



ばら組 (4歳児)

先日のカレーパーティーを心待ちにしていた子ども達。カレーの具材を決めた日から「あと何回寝たらカレーパーティー?」と毎日のように指折り数えて楽しみにしていました。お家の方が作っている所を見た事はあると思ひますが子ども達の目の前で野菜を炒め、ぐつぐつ煮込んでいるとみんなが鍋を覗き込むように見入っていました。さあ、待ちに待った給食の時間です。食べていると「これ僕が切った人参?」「私が切ったじゃがいもだよね」「おいしい!」とあちらこちらから嬉しそうな会話が聞こえてきて、鍋いっぱいにあったカレーをきれいに完食していました。最近、縄跳びに挑戦し頑張っている姿が多くみられます。最初からたくさん跳べる訳ではありません。何度も跳び続け、一回でも多く跳べると自信に満ちた笑顔で教えてくれます。これからも子ども達の自信に繋がるよう、一緒に喜びを感じ、出来た!という体験を増やせるようにしていきたいと思ひます。(木村)



ゆり組 (5歳児)

保育園の生活も残り2ヶ月となりました。卒園の準備が始まりましたが子ども達にはまだ実感が薄い様子です。

例年に比べ、今年は暖かい日が続いていますね。子ども達は毎日走り回って鬼ごっこや縄跳びを腕まくりで楽しんでいます。冬ならではのことも楽しみたいと、先日寒くなる日の前日にカップに水を入れ氷を作ることに挑戦しました。水の中に何を入れる?と考え、毛糸や絵の具を入れてみました。朝登園すると「氷できた?」と部屋に飛び込んで来る子が何人もいました。皆で見に行ってみると、氷ができていて子ども達の大歓声!「きれいにできたね!」「〇〇ちゃんの素敵だね!」と自分たちの考えたものが成功したことを喜び、友だちの作品を認めたりと、とてもいい雰囲気でした。懇談会後のお楽しみ会に何を行なうか子ども達と相談しました。色々なアイデアが次から次へと出てきて子ども達のわくわくが溢れていましたよ。楽しみにして下さい。(滋野)